

取扱説明書

保証書付

型式 / TYPE: WD025

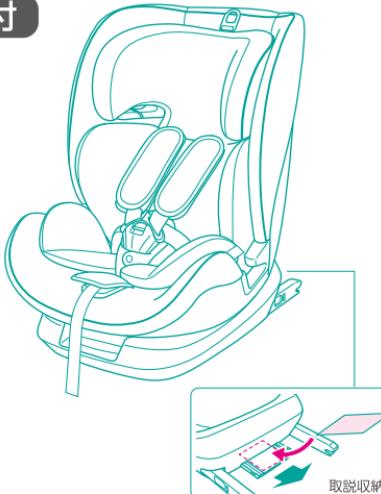
規則 / Regulation: UN R129/03

サイズ範囲 / 76 cm ~ 150 cm 以下

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

また、本書は取付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。



お使いいただく前に

チャイルドモードの
使い方
身長 76~105cm

ハイバックモードの
使い方
身長 100~150cm

お手入れの仕方・
保管など



お客様情報の
登録をお願い
します。



シリアル No. をお控えください。

「本取扱説明書」(裏面の保証書)に、「シリアル No.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に[シリアル No.]をお控えください。

*車両への取付け後、車両シートで[シリアル No.]が見えにくい場合があります。

もくじ

お使いいただく前に

| | |
|---------------|---|
| お使いいただく前に | 1 |
| もくじ | 1 |
| お使いいただく前に | 2 |
| 使用条件 | 3 |
| 安全にお使いいただくために | 5 |
| 取付けできない座席 | 6 |
| ご使用上の警告 / 注意 | 7 |
| 各部の名称 | 9 |

チャイルドモードの使い方

●お子さまの身長：76cm～105cm

| | |
|-----------------------|----|
| リクライニングの仕方 | 12 |
| 幼児ベルト位置 / ヘッドレスト調節の仕方 | 13 |
| 取付け準備 | 14 |
| 車への取付け方 | 16 |
| 取付け完了チェックの仕方 | 19 |
| 車からの取りはずし方 | 20 |
| お子さまの乗せ方 | 21 |
| お子さまを乗せた後の確認 | 24 |
| お子さまの降ろし方 | 25 |

ハイバックモードの使い方

●お子さまの身長：100cm～150cm

| | |
|---------------------|----|
| ハイバックモードへの変更の仕方 | 28 |
| 肩ベルトガイド高さの調節の仕方 | 33 |
| 取付け準備 | 34 |
| 車への取付け方 | 35 |
| 車への取付け方（車両シートベルト固定） | 39 |
| お子さまの座らせ方 | 41 |
| お子さまを乗せたとの確認 | 43 |

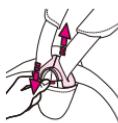
お手入れの仕方・保管など

| | |
|--------------------|-----|
| シートカバーのはずし方 / 取付け方 | 44 |
| お手入れの仕方 | 45 |
| 保管/廃棄の仕方/製品仕様 | 46 |
| 保証書 | 裏表紙 |

お使いいただく前に

緊急時のお子さまのおろし方

チャイルドモード時



バックルの赤いボタンを押し、タングをはずします。



幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

ハイバックモード時



バックルの赤いボタンを押し、タングをはずします。



お子さまにかかっている車両シートベルトをはずし、お子さまを救出してください。



車両バックルの赤いボタンを押しでも、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などで車両シートベルトを切断してお子さまを救出してください。

表示マークについて

この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

| 表示 | 表示の内容 |
|----|---|
| | 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。 |
| | 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。 |
| | 図示されている内容の禁止を示しています。 |
| | 安全のため、必ず確認していただきたいこと。 |
| | より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。 |

使用条件

- 車の進行方向に対して「前向き取付け」で使用してください。
- お子さまの身長に合わせた、下記使用条件でご使用ください。
詳しくは 11 ページ「チャイルドモード」及び 27 ページ「ハイバックモード」をご参照ください。

| モード | チャイルドモード |
|-----------|---|
| お子さまの身長 | 76cm~105cm ▲月齢 15 ヶ月に満たないお子さまには使用しないでください。 |
| 固定方法 | ISOFIX取付け金具 + トップテザー |
| お子さまの拘束方法 | チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。 |
| 使用状態 |  <p>注) 身長 87cm までのお子さまはインナーパッドを使用してください。</p>    <p>幼児肩ベルト位置の目安</p> <p>●幼児ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より少し高い位置で使用してください。</p> |

| モード | ハイバックモード |
|-----------|--|
| お子さまの身長 | 100cm~150cm ▲月齢15ヶ月に満たないお子さまには使用しないでください。 |
| 固定方法 | ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルト 車両シートベルトのみ |
| お子さまの拘束方法 | 幼児ベルトを本体内に格納し、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。 |
| 使用状態 | <p>ベルトガイド位置の目安</p> <p>●ヘッドレストアジャスタを上向きに引きながら、幼児ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より少し高い位置に調整します。</p> |

安全にお使いいただくために

車両シートベルトの種類と取付けのポイント（ハイバックモード取付け時）

- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 又は同等の基準で認可された 3 点式リトラクター付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれ特長も違い、取付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、お客様の車両（シートベルト）に合った取付け方法で装着してください。

3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルト左右と肩ベルトの 3 点で体を支えるシートベルトのこと。

肩ベルト
腰ベルト



2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右 2 点で体を支えるシートベルトのこと。

腰ベルト



取付け可能な車両シートベルトの種類

| 車両シートベルトの種類と特徴 | | 前向き取付け時の注意点 |
|----------------|---|--|
| ELR | ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。 | ○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。 |
| AELR | シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。（シートベルトを全て巻き戻すと解除される） | ○ シートベルトを全て引き出すと危険です。 ○ シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。 |
| その他 | 上記にあてはまらないシートベルト。 | ✗ 使用できません。 |

取付けできない座席

- ISOFIX取付け金具が装備されていない座席。 前向き取付時に取付金具を使用しない取付方法もあります。
- 前方にエアバッグが装備されている座席。
(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。
(衝突の際にショックを吸収できません。)
- 本製品を取付けた際に、運転に支障を及ぼす座席、及び前部中央座席。
(万一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 助手席には取付けないでください。
- 極端なバケットタイプなどの座席。
(取付けた本製品が安定しません。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。



ご使用上の警告 / 注意

⚠️ 警告 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は**取扱説明書どおり**に固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、**ベルトが首に巻きつくおそれがある**ため、**必ず保護者が同乗し、使用してください。**
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず**腰ベルトを低く下げて着用**させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、**他の座席**に取付けてください。
- チャイルドモード使用時、**バックルをはずしたままでの使用は危険**ですので絶対にしないでください。(ハイバックモードを除く。)
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けないでください。
- お子さまが、**バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。**ときどきタングが**バックルからはずれていないことを確認**してください。
- 衝突事故や製品を落させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても**絶対に使用しない**でください。
- 本製品を**改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しない**でください。
- シートカバーを**はずしての使用、または専用カバー以外での使用はしない**でください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けないでください。しっかり固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- お子さまの負担を考え**1時間以上連続して使用しない**でください。
- エアバッグ装備の座席には**使用しない**でください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。

●肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にからないように調整してください。

●本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してから使用してください。

⚠ 注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

●お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)

●本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。

●お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。

●お子さまが本製品の上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。

●衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。

●座席の材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と座席が接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。

●可動式座席または車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。

●ベルトを鋒利なもので傷つけないように注意してください。

●本製品を車両以外では使用しないでください。

●本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。

●お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。

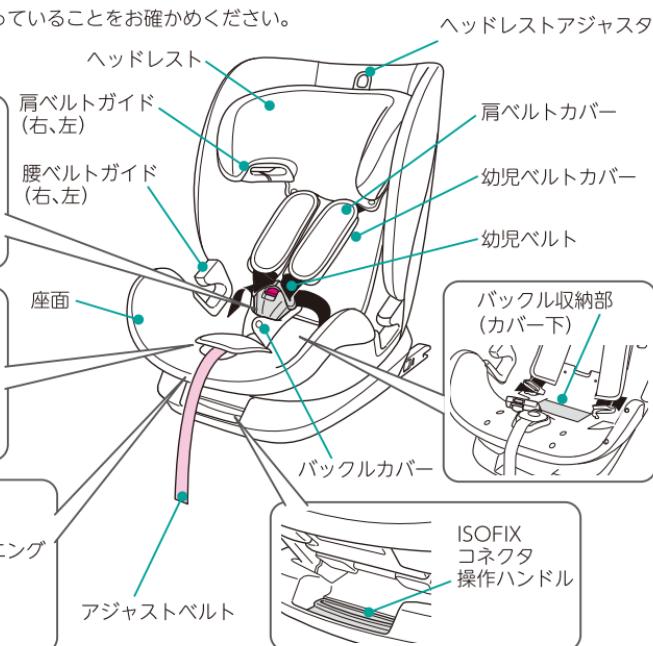
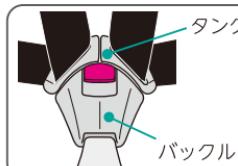
●本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもたないでください。故障の原因となります。

●爪をのばしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

各部の名称

●ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。

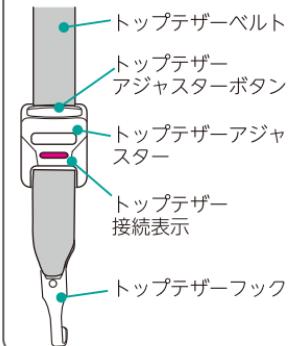
正面



お使いいただく前に

トップテザー

※ 製品出荷時、トップテザーはシート内に収納されています。使用時は収納部のフタを開け取り出してご使用ください。



シート

背面

シートカバー

トップテザー収納部

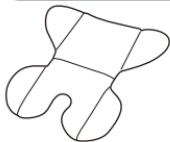
取扱説明書
収納トレー

ISOFIX コネクタ

ベース

ISOFIX 接続表示

コネクタ解除レバー
コネクタ解除ボタン



インナーパッド
※一部商品によっては
形状が異なります。

付属品

- 取扱説明書(保証書付)
- お客様登録のお願い
- ヘラ(本体カバー取付け用)
※お子さまの手が届かない場所に保管してください。



※一部商品によっては
付属されていません。

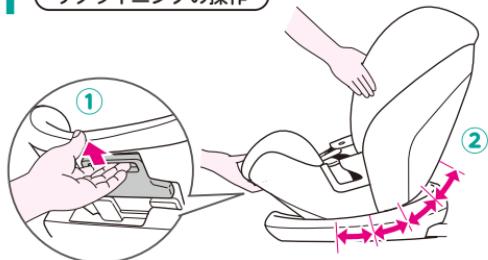
チャイルドモードの使い方

お子さまの身長：76cm～105cm

▲月齢 15 ヶ月に満たないお子さまには使用しないでください。

リクライニングの仕方

1 (リクライニングの操作)



- ① リクライニングレバーを引き上げながら、
- ② シートの角度を、お子さまの様子に合わせて調節します。
- リクライニングポジションは、「チャイルドシートモード」「ハイバックモード」とともに「1」～「5」から選べます。

2 (確認)



- リクライニングレバーから指を離して本体をリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認します。

チャイルドモードの使い方



●車両への取付け時、シートが車両シートに干渉してリクライニング操作ができない場合があります。

※無理なく操作できる場合は、ご使用いただけます。

警告

●車両のヘッドレストにシートが干渉してリクライニング操作ができない場合は、ヘッドレストを取り外してください。



注意

シートをリクライニング操作する場合、ベースとシートの間で手などを挟まないように注意してください。

幼児ベルト位置 / ヘッドレスト調節の仕方

お子さまの成長に合わせて、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は12段階変更できます。

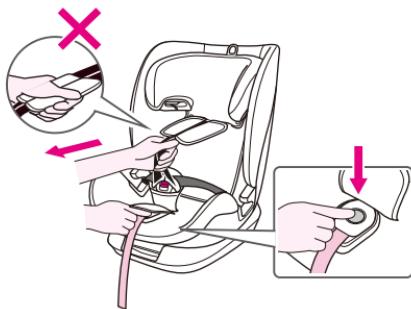
チャイルドモードの使い方

幼児肩ベルト位置の目安

- 幼児ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より少し高い位置で使用してください。



1 幼児ベルトの引き出し



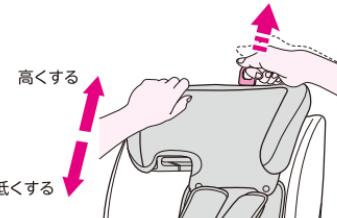
- アジャストボタンを押しながら、左右両方（2本）の幼児ベルトを同時に手前に引き出します。



肩ベルトカバーではなく、**幼児ベルトだけ**
アドバイス を引いてください。

2 ヘッドレストの高さ調節

※製品出荷時はシート背面部に収納されているトップテザーが干渉するため、必ず外に取り出してから調節してください。（14ページ参照）



- ヘッドレストアジャスタを上向きに引きながら、幼児ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より少し高い位置に調節します。
- 適切な位置でヘッドレストアジャスタから手をはなし、ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認します。



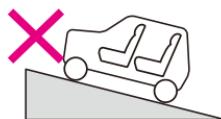
車両シートのヘッドレストが干渉する場合
は上げるか、取りはずしてください。

取付け準備

作業スペースの確保

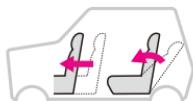


安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。



- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。

- ドアを開け、前座席を前に倒したり、前にスライドさせてから取付けてください。

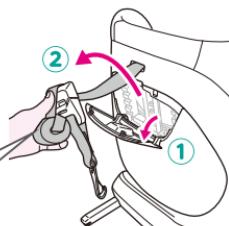


- 車両シートがリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

チャイルドモードの使い方

1 トップテザーを取り出す

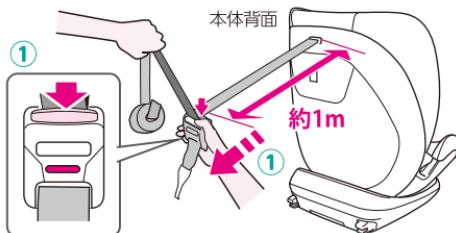
ほどき方



- ① 本体背面のトップテザー収納部のフタを開け、
- ② トップテザーを取り出します。
- ③ 巻いてあるトップテザーベルトをほどき、約 1m の長さを確保します。

取付け準備

2 トップテザーベルトを伸ばす



チャイルドモードの使い方

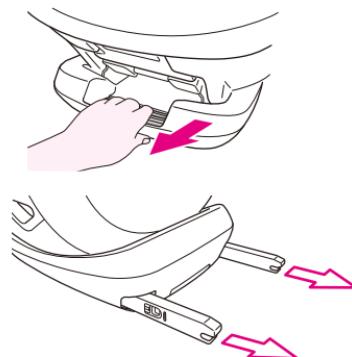
- ① トップテザーアジャスター ボタンを強めに押しながらトップテザーアジャスターを手前に約1m 移動させます。
- ② ①の状態のまま本体正面側へ仮置きしておいてください。



アドバイス

トップテザーベルトの先端にある結束ベルトの面ファスナーはシートカバーに触れると生地表面をいためるおそれがあるので、取扱いには十分注意してください。

3 ISOFIXコネクタの引き出し



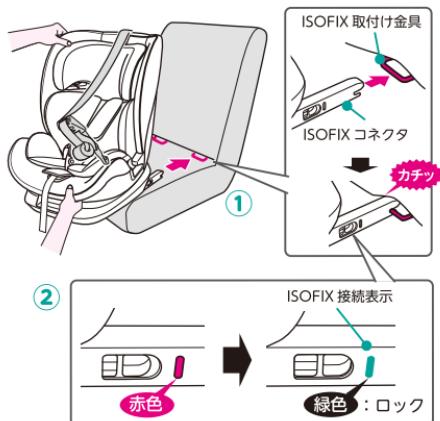
- 座面下のコネクタ操作ハンドルを引くと同時にISOFIXコネクタ同時に飛び出します。



注意 ハンドルを引くと同時にISOFIXコネクタが飛び出します。周りにお子さまがいないことをしないことを注意しながらおこなってください。

車への取付け方

1 ISOFIXコネクタを差し込む



① ISO FIX 取付け金具の位置を確認し、本体をゆっくりと押し込み、左右の ISO FIX コネクタを ISO FIX 取付け金具に接続する。

② 左右それぞれのコネクタから「カチッ」と音が聞こえるまでチャイルドシートを押し込み、左右の ISO FIX 接続表示が「赤色」から「緑色」に変わったことを確認します。

2 車両シートへ押し込む



チャイルドモードの使い方

① 座面下のコネクタ操作ハンドルを引きながら

② 車両シートに密接するまで本製品を押し込みます。

- リクライニングを倒した状態で、車両に取り付けを行うと、チャイルドシートと車両シートの背もたれが干渉し、しっかりとした車両への取り付けができない場合があります。干渉する場合は、チャイルドシートのリクライニング角度を調節してください。



アドバイス

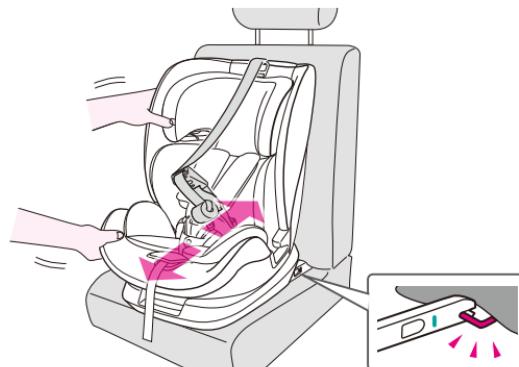
- 車両によっては、しっかりと押し込んでも完全に接しない場合があります。車両シートの背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調整してください。

車への取付け方

3

固定の確認

チャイルドモードの使い方



- 本体を前後させ、ISOFIX コネクタが伸縮しない(ロックされている)ことを確認します。



うまくいかない時は

ISOFIX接続表示が緑色に変わらない。

→車両の ISOFIX 取付け金具にしっかりと接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニング(倒す)するなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。

ISOFIX接続表示が緑色に変わっていて、ISOFIXコネクタが根元までが入って行かない。

→取付けを中止し、一旦取りはずし、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。

4 トップテザーフックを固定する



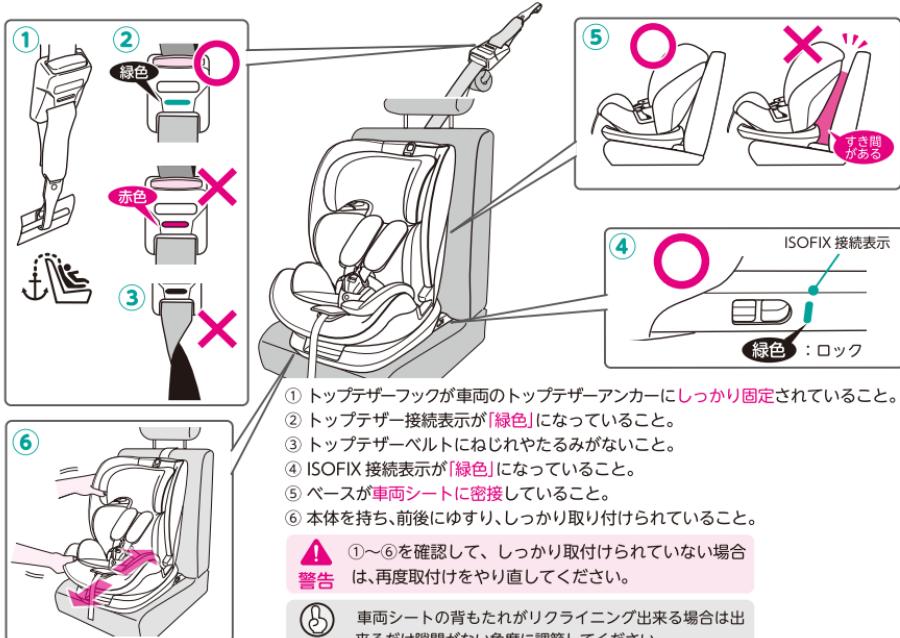
- ①トップテザーを、車両のヘッドレストの下の隙間に通す。
- ②トップテザーフックを車両のトップテザーランカーに固定します。
車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。
- ③トップテザーベルトをトップテザー接続表示が「緑色」になるまで引っ張り、それ以上は引っ張らないでください。

警告

- 余ったトップテザーベルトは必ず巻き取り、ぶらつかない様にいちばん短くして結束ベルトで留めてください。(巻き取り方参照)
- トップテザーベルトは、接続表示が緑色になるまで引っ張ってください。締めすぎるとお車のシートをいためますので引き過ぎないでください。インジケーターは取付け時のめやすです。
- トップテザーベルトはねじらないでください。
- トップテザーベルトが緩んでいるときは張り直してください。

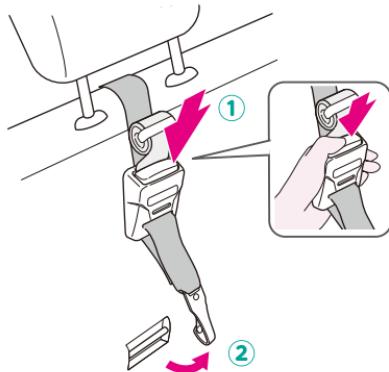
取付け完了チェックの仕方

チャイルドモードの使い方

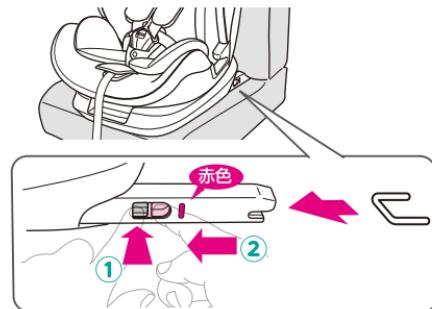


車からの取りはずし方

1 トップテザーベルトのはずしかた

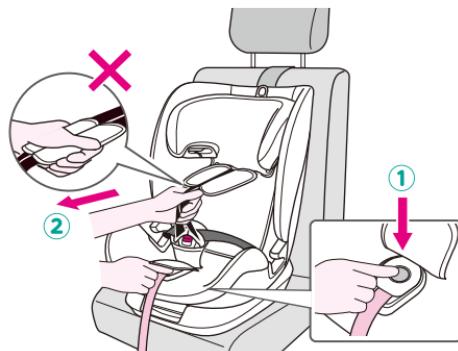


2 ISOFIXコネクタの取りはずしかた



お子さまの乗せ方

1 幼児ベルトを引き出す



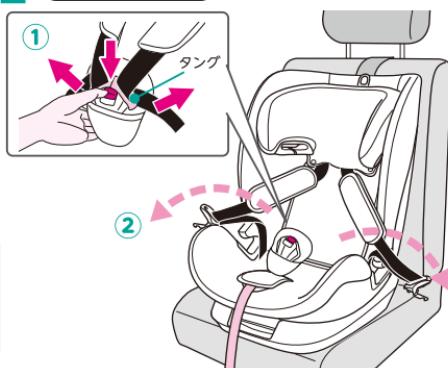
チャイルドモードの使い方

- ① アジャストボタンを押しながら、
- ② 左右両方（2本）の幼児ベルトを同時に手前に引き出します。



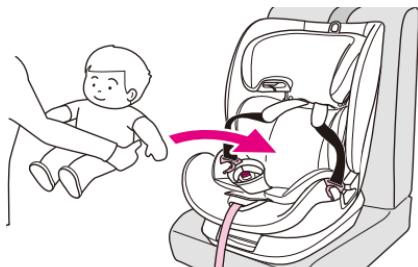
肩ベルトカバーではなく、**幼児ベルトだけ**
アドバイス
を引いてください。

2 バックルの解除



- ① バックルの赤いボタンを押してタンブをはずします。
- ② 幼児ベルトを左右に大きく開いてお子さまの座るスペースを確保します。

3 お子さまを座らせる



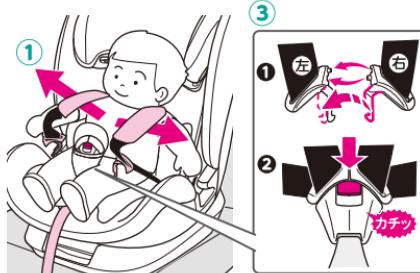
●バックルがお子さまの股の間に収まるようにして、お子さまを座面の奥深くに座らせる。

※身長 87cm までのお子さまはインナーパッドをセットします。(身長 87cm を超える場合は使用しないでください)



- おしりと座面の間にすき間ができるないように深く座させてください。
- お子さまが正座しないようにしてください。
- かさばる服を着せた状態で、本製品に座らせないでください。

4 お子さまを拘束する(バックル操作)



①お子さまの腕を、矢印のように幼児ベルトの下側に通す。

②お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ベルトの位置に調節する。(13ページ・2 参照)

③左右のタングを持ち、①右タングを左タングに重ね合わせて、②「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。



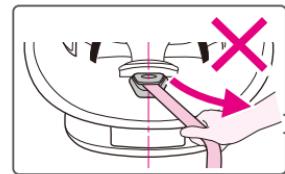
- バックルに異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

お子さまの乗せ方

5 お子さまを拘束する（アジャストベルト操作）

- 幼児ベルトをお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、アジャストベルトをまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみをなくし、お子さまに密着させる。

チャイルドモードの使い方



警告 アジャストベルトを斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかり拘束できなくなる可能性があります。



アドバイス 幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と幼児ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。



お子さまを乗せた後の確認



お子さまの着席のたびに、必ず確認してください。

正しくできていない場合は、14ページ~23ページの手順をやり直してください。

お子さまの身長にあわせた使用条件になっていること。
(3ページ参照)

肩に近い肩ベルト高さに調節されていること。

肩ベルトカバーがお子さまの肩の中央にかかる位置に調節されていること。

タングがパックルにしっかりと差し込まれてロックされていること。

パックルカバーがお子さまの足の間に通っていること。

トップテザーが接続されていること。

緑色

幼児ベルトにねじれにや、たるみがないこと。



幼児ベルトが腰骨のできるだけ低い位置を通っていること。



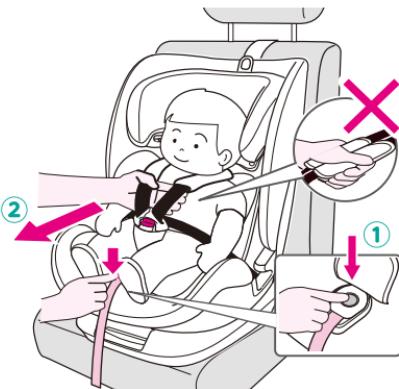
ISOFIXコネクタが接続されていること。

緑色

チャイルドモードの使い方

お子さまの降ろし方

1 幼児ベルトの引き出し



チャイルドモードの使い方

- ①アジャスタボタンを押しながら、
- ②左右両方（2本）の幼児ベルトを同時に手前に引き出す。



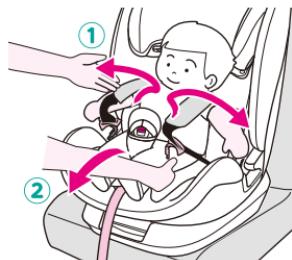
肩ベルトカバーではなく、**幼児ベルトだけ**
を引いてください。

2 パックルの解除



- ①パックルの赤いボタンを押してタンブをはずします。
- ②幼児ベルトを左右に大きく開く。

3 お子さまを降ろす



- ①お子さまの腕を幼児ベルトからはずし、
- ②お子さまをチャイルドシートから降ろします。

memo

チャイルドモードの使い方



ハイバックモードの使い方

お子さまの身長：100cm～150cm



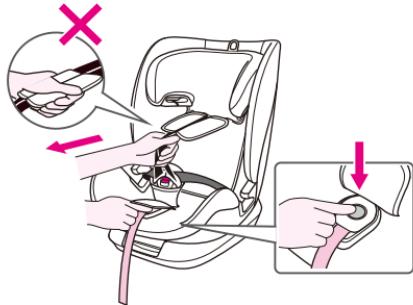
チャイルドモードからハイバックモードへ移行する場合はモード変更をおこなってください。

ハイバックモードへの変更の仕方



- 本モードではインナーパッドは使用しません。
- お子さまの身長が100cmを超えるまでは「ハイバックモード」で使用しないでください。

1 幼児ベルトの引き出し

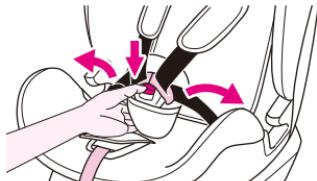


- アジャストボタンを押しながら、左右両方（2本）の幼児ベルトを最大限引き出します。



アドバイス 肩ベルトカバーではなく、**幼児ベルトだけ**を引いてください。

2 バックルをはずす



- バックルの赤いボタンを押してタングをはずす。

3 バックルカバーをはずす

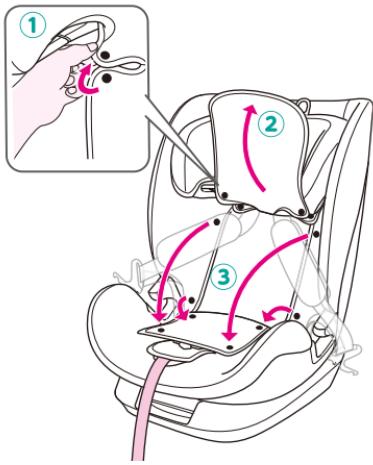


警告 モード変更の際にはずしたバックルカバーは大切に保管し、紛失しないようにしてください。

- バックルカバーのホックをはずし、取りはずします。

ハイバックモードへの変更の仕方

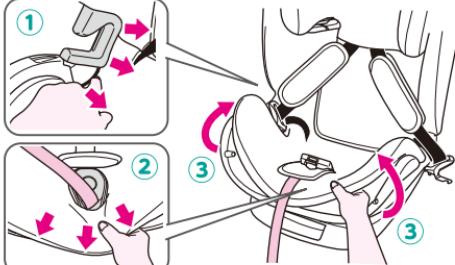
4 カバーのホックをはずす



ハイバックモードの使い方

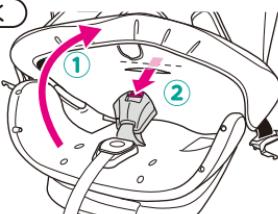
- ① ヘッドレストカバーのホック(左右2箇所)をはずして、
- ② ヘッドレストの前カバーをめくる。
- ③ 背もたれカバーのホック(4箇所)をはずします。

5 カバーをはずす



- ① 左右の腰ベルトガイド内側のカバーを引っ張りながらはずします。
- ② アジャストボタンまわりのカバーを引っ張りながらはずします。
- ③ 座面サイドのカバーをめくっておきます。

6 バックルを引き抜く

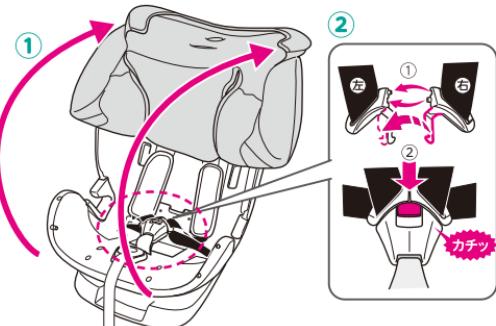


- ① 座面カバーをめくりあげながら、
- ② 座面カバー裏側からバックルを引き抜きます。

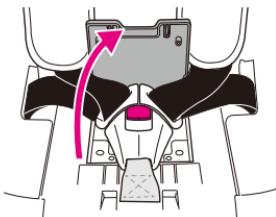
7

バックル収納の準備

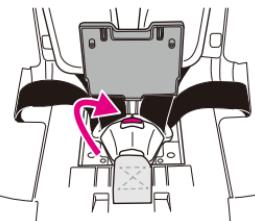
- ① 座面カバーを大きくめくり、作業スペースを確保します。
- ② 図の位置でタンブをバックルに差し込みロックしたまま置きます。

**8**

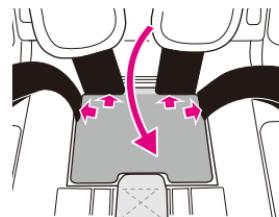
バックルを収納する



- バックルが手前になるようにバックル収納部のフタを開けます。



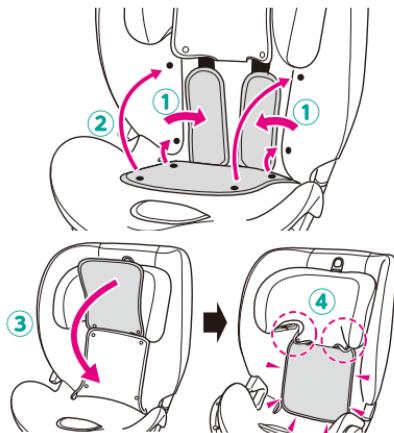
- ロックさせたバックルをバックル収納部へ落とし込みます。



- ベルト出口位置に注意しながらバックル収納部のフタを閉めます。

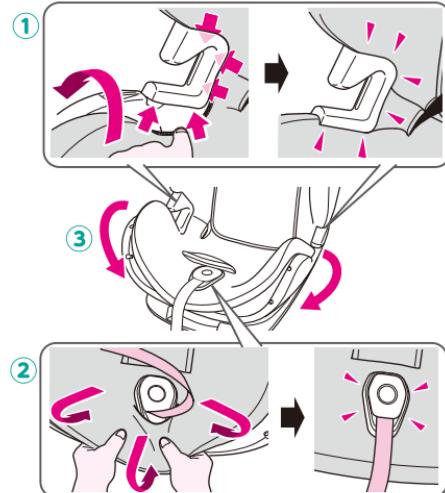
ハイバックモードへの変更の仕方

9 背もたれカバーをもどす



- ① 幼児ベルトは背もたれカバーの裏側に配置します。
- ② 背もたれカバーを戻し、ホックを留めます。(4箇所)
- ③ ヘッドレストの前カバーを下ろして、
- ④ ホックを留めます。(2箇所)

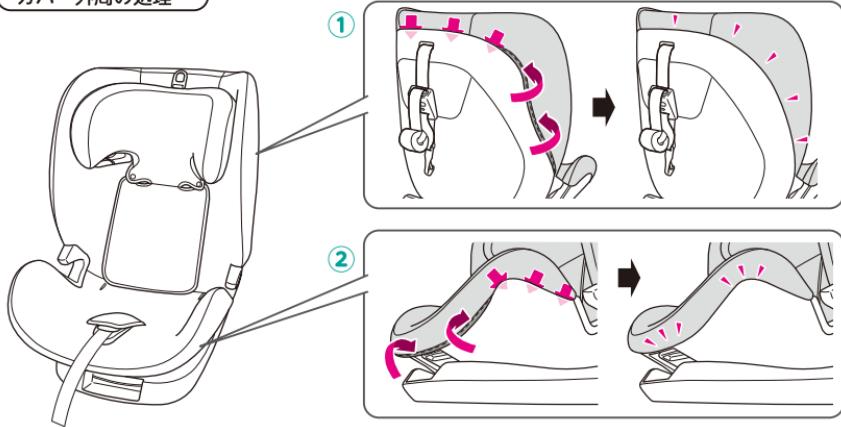
10 座カバーをもどす



- ① 左右の腰ベルトガイド内側の生地を差し込みます。
- ② アジャストボタン周りの生地を丁寧に引っ張りながら隙間に生地を差し込みます。
- ③ 座面サイドのカバーを戻します。

11

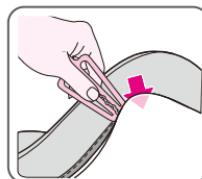
カバー外周の処理



- ① 本体カバー背面、側面、
- ② 座面下回り部分の生地端部を樹脂外周にある溝に順に差し込んでモード変更を完成させます。



付属の「ヘラ」を使うとめ込みやすくなります。
※ご使用後はお子さまの手が届かない場所に保管してください。



肩ベルトガイド高さの調節の仕方



車両に取付ける前に、お子さまの身長に合わせて、ヘッドレスト高さと連動するベルトガイド位置を決定します。ベルトガイド位置は12段階変更できます。

1 トップテザーの取り出し



2 ヘッドレストの高さ調節



ハイバックモードの使い方

肩ベルトガイド位置の目安

× 低すぎる ○ 肩と同じか、やや高め × 高すぎる

肩立



①お子さまを座面奥深く座らせてみて、ヘッドレストアジャスタを上向きに引きながら、幼児ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より少し高い位置に調節します。

②適切な位置でヘッドアジャスタから手をはなし、ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認します。

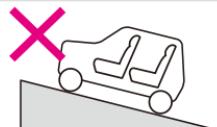
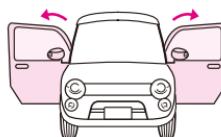
取付け準備

作業スペースの確保

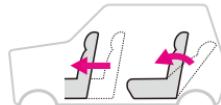


安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。



- 前座席を前に倒したり、前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両シートがリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



車への取付け方



警告

- 本モードではトップテザーは使用しません。 トップテザーベルトは一番短く巻き取り、本体背面のトップテザー収納部へ収納してください。
- 本モードではインナーパッドは使用しません。 付いている場合は取り外してからご使用ください。
- お子さまの身長が 100cm を超えるまでは「ハイバックモード」で使用しないでください。



ハイバックモードでは2通りの取付けができます。

ハイバックモードの使い方

A **ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルト** で取り付ける方法

お子さまの拘束方法： 幼児ベルトを本体内に格納し、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。

または

(36ページ～38ページ・41ページ～43ページ参照)

B **車両シートベルト** のみで取り付ける方法

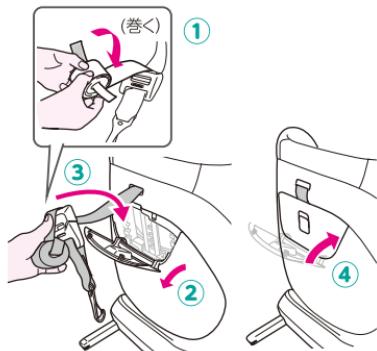
お子さまの拘束方法： 幼児ベルトを本体内に格納し、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。

(39ページ～43ページ参照)

A ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルトで取り付ける場合

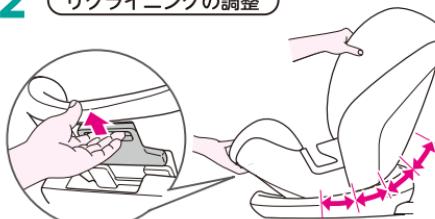
1 トップテザーの収納

※トップテザーが収納されている場合は「2」へ進んでください。



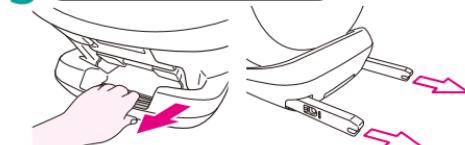
- ① トップテザーベルトは一番短く巻き取ります。
- ② 本体背面のトップテザー収納部のフタを開けます。
- ③ トップテザーとトップテザーベルトをまとめて収納します。
- ④ トップテザー収納部のフタを閉じます。

2 リクライニングの調整



- リクライニングレバーを引き上げながら、シートの角度を、お子さまの様子に合わせて調節します。(12 ページ 参照)

3 ISOFIXコネクタの引き出し

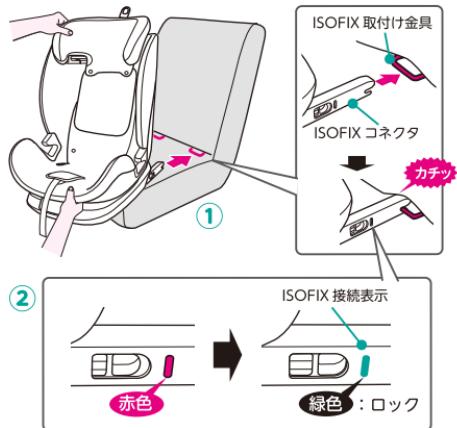


- 座面下のコネクタ操作ハンドルを引くと同時に ISOFIX コネクタが飛び出します。(15 ページ 参照)

車への取付け方

ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルト で取り付ける場合

4 ISOFIXコネクタを差し込む



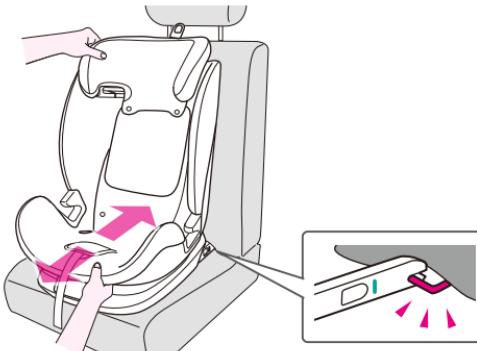
ハイバックモードの使い方

5 車両シートへ押し込む



- リクライニングを倒した状態で、車両に前向きに取り付けを行うと、チャイルドシートと車両シートの背もたれが干渉し、しっかりとした車両への取り付けができない場合があります。干渉する場合は、チャイルドシートのリクライニング角度を調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んでも完全に接しない場合があります。車両シートの背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調節してください。

6 固定の確認



- 本体を前後させ、ISOFIXコネクタが伸縮しない(ロックされている)ことを確認する。

警告 車両シートのヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。



うまくいかない時は

ISOFIX接続表示が緑色に変わらない。

→車両のISOFIX 取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクリーニング(倒す)するなどして、差し込み角度を調整し、もう一度ISOFIXコネクタの差し込み操作をやり直してください。

ISOFIX接続表示が緑色に変わっていて、ISOFIXコネクタが根元までが入って行かない。

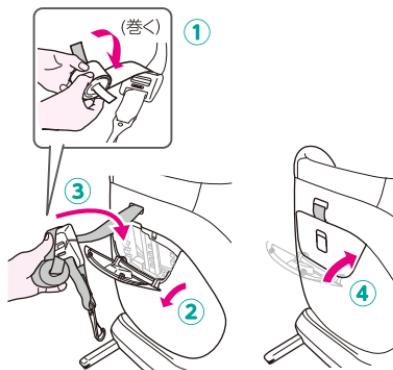
→取付けを中止し、一旦取りはずし、もう一度ISOFIXコネクタの差し込み操作をやり直してください。

車への取付け方

B 車両シートベルト のみ取り付ける場合

1 トップテザーの収納

※トップテザーが収納されている場合は「2」へ進んでください。

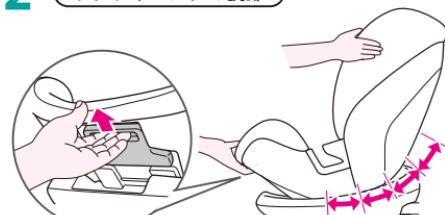


ハイバックモードの使い方

- ① トップテザーベルトは一番短く巻き取ります。
- ② 本体背面のトップテザーリー収納部のフタを開け、
- ③ トップテザーとトップテザーベルトをまとめて 収納します。
- ④ トップテザーリー収納部のフタを閉じます。

39

2 リクライニングの調節



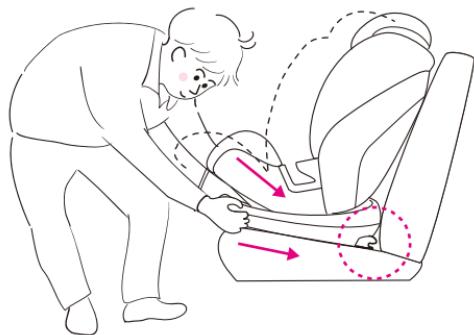
- リクライニングレバーを引き上げながら、シートの角度をお子さまの様子に合わせて調節します。(12 ページ 参照)

3 ISOFIXコネクタの収納



- コネクタ操作ハンドルを引きながら、ISOFIX コネクタを矢印の方向に押して収納します。(右左連動します。)

4 (車両シート上に置く)

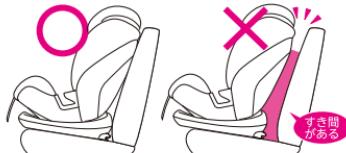


配置完了状態



ハイバックモードの使い方

●車両シートの背もたれにベースが密接するように配置します。



車両シートの背もたれがリクライニング出来る場合は出来るだけ隙間がない角度に調整してください。
アドバイス

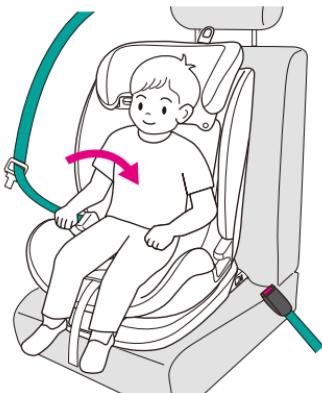


警告 車両シートのヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。

お子さまの座らせ方

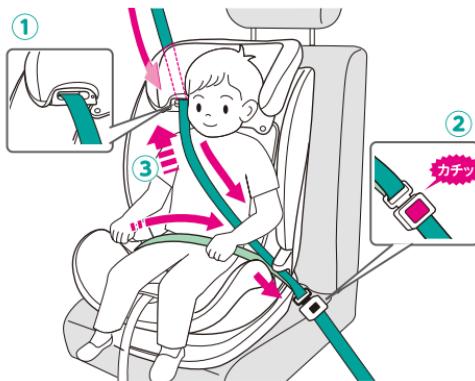
I-SOFIX取付け金具 + 車両シートベルト 固定 / 車両シートベルト のみの固定、共通説明

1 お子さまを座らせる



- 車両パックルをいったん解除し、お子さまを座面奥深くに座らせる。

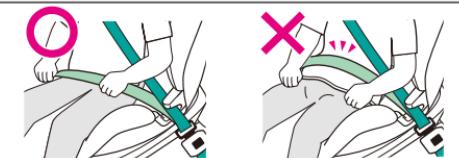
2 車両シートベルトで固定



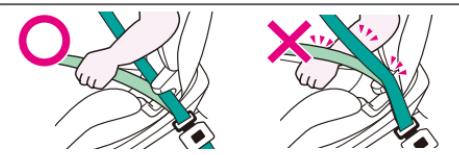
- ①車両シートベルトを引き出し、肩ベルトガイドに通す。
- ②腰ベルトガイドに通し、車両パックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ③お子さまの肩にかかる車両ベルトを上に引いて、たるみを取ります。



お子さまの成長にあわせて肩ベルトガイドの高さを調節してください。(33ページ 参照)



警告 車両シートベルト（腰側）は、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように調節して、腰部に密着させてください。



●お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。
警告 ●お子さまが正しく着座しているか確認してください。前のめり、のけぞり、傾いて座る、立ひざなどの姿勢は危険です。

注意 お子さまを乗せていないときも、チャイルドシートに車両ベルトをかけて固定しておいてください。

お子さまを乗せたあとの確認



お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら次のことを確認してください。
正しくできていない場合は、P37～P42の手順をやり直してください。

ハイバックモードの使い方

車両シートベルト（肩側）
がベルトガイド通り、お
子さまの首にかかってい
ないこと。

車両シートベルトがお子
さまの体に密着してい、
ゆるみ、たるみ、ねじれが
ないこと。

車両ベルト（腰側）が左右の
腰ベルトガイドに通り、お
子さまの腰骨の出来るだけ
低い位置に確実にかかって
いること。

お子さまの身長にあわせた使用条件になっていること。
(4 ページ参照)

チャイルドシートと座席の背
もたれとの間に大きなすき間
がないこと。

ISOFIXコネクタが接続されて
いること。

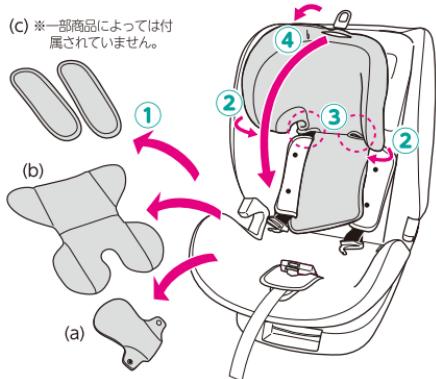
※車両シートベルトのみで取り付け
る場合を除く。

車両シートベルトのタンブ
プレートとバックルが確実
に接続されていること。

シートカバーのはずし方 / 取付け方

1 (カバー小物とヘッドレストカバーをはずす)

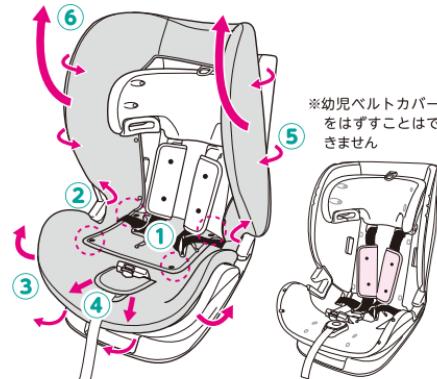
(c) ※一部商品によっては付属されていません。



- ① バックルを解除し(28ページ参照)、(a)バックルカバー、(b)インナーパッド※、(c)左右の肩ベルトカバーを取りはずす。
- ② ヘッドレストカバーの両側を本体からめくるようにはずす。
- ③ ヘッドレストカバーのホック2箇所をはずす。
- ④ ヘッドレストカバーを上部からめくるようにはずす。

2 本体カバーをはずす

※幼児ベルトカバーをはずすことはできません



- ① 背もたれ部のホック(4箇所)をはずす。
- ② 腰ベルトガイド周りのカバーをはずす。(29ページ参照)
- ③ 座面外周のカバーをはずす。
- ④ アジャストボタン周りのカバーをはずす。(29ページ参照)
- ⑤ 本体カバー(上半分)外周のカバーをはずす。
- ⑥ 本体カバー全体を上に引き上げながらはずす。

※取付けは、シートカバーのはずし方の逆手順で行ってください。

お手入れの仕方

重要な注意すべき点

- シートカバー、ベルト類、クッション類、インナーパッド、バッフルなどは、チャイルドシートが適切に機能するために重要な役割を果たします。 パーツ取り付けは、必ずメーカーの認定交換パーツのみを使用するようにし、紛失または取り付け忘れが無いように十分注意してください。

洗濯と日常のお手入れ

シートカバーなどの縫製品の洗い方

-  ● 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
-  ● ドライクリーニングはしないでください。
-  ● 酸素系漂白剤、塩素系漂白剤は使用しないでください。
-  ● アイロン掛けはしないでください。
-  ● 洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

日常のお手入れ方法

- 取りはずしができるウレタン、クッション類は取りはずしてから手洗いしてください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 樹脂部は水では洗えません。固く絞った濡れタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

お手入れの仕方・保管など



- ガソリン、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や次亜塩素酸水、原液の中性洗剤などの薬品は使用しないでください。樹脂部品や縫製品をいためるおそれがあり危険です。

保管 / 廃棄の仕方 / 製品仕様

保管／廃棄の仕方／製品仕様

保管 ● 製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄 ● お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
● 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様 製品サイズ D530 W445 H630mm (最起位) ※ISOFIX コネクタ含まず

材 質 本 体…PP、ウレタン
シートカバー…表／ポリエステル 裏／ウレタン

お手入れの仕方・保管など

ナカバヤシ株式会社

TEL:0570-666-365 <https://www.nakabayashi.co.jp/>

W2505 25.01